

日置谷幸せの里づくり計画

(地域コミュニティ計画)

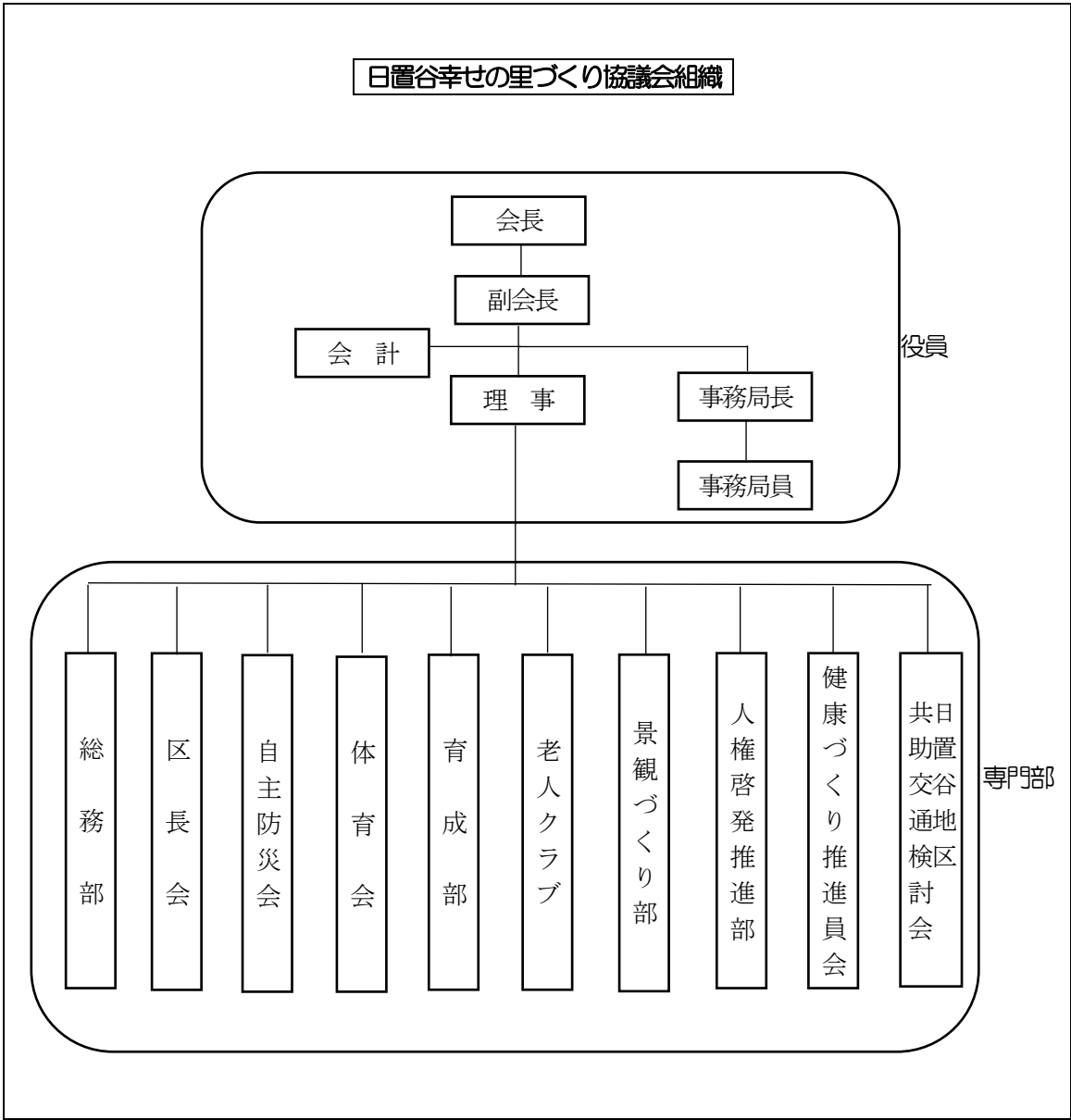


2025年4月改訂

日置谷幸せの里づくり協議会

目 次

- 1 日置谷幸せの里づくりにおける地域コミュニティ計画の位置付け
- 2 日置谷地区の現状と課題
- 3 基本目標



1 日置谷幸せの里づくりにおける地域コミュニティ計画の位置付け

本計画は、日置谷幸せの里づくり協議会（以下「里づくり協議会」といいます。）の取組みの基本的な方向を示すものです。

2010（平成22）年4月25日に「幸せの里」づくり計画を策定し、地区住民と行政（地区公民館）との協働体制のもと掲げた目標に向かって取り組んできたところですが、計画策定から15年経過し、取り巻く環境の変化等もあり、この度見直しを行うものです。

2 日置谷地区の現状と課題

（1）真剣な将来への思い

全国的に少子高齢化が進み、環境や経済は悪化し、農業生産基盤の弱体化はここ10年で急速に進みました。

この状況は、日置谷地区も例外ではありません。すでに農業は基盤産業と言えなくなり私たちはこの現実を、日々痛感し、日々悩みながら過ごしています。将来を見据え、未来の子どもたちに豊かな日置谷を引き継ぐにはどうしたらいいか、今出来ることは何か、何から始めたらいいのかと、真剣に考えています。

（2）産業・農業・農地環境について

農業従事者の高齢化、「農業の後を継げ」とわが子に言えない環境の下、休耕地・耕作放棄地の拡がりや深刻な問題となっています。

地区住民有志が危機感をもって対応に当たっていますが、少子高齢化や若年層の流出は止まらず、農業振興は里づくり協議会だけで解決できる問題ではなくなったのが現状です。

そのため、農業の振興が日置谷地区の重要な課題であるという認識を維持しつつ、集団営農、法人化、人材センターの設立など農業経営の効率化・安定化を図ることや、特産物の開発などは里づくり協議会として取り組む目標から外すこととしました。

（3）自然環境について

自然が豊かであることは、私たちの誇りです。しかし、農業の衰退傾向は拭えず、山地や平地を問わず荒地が目立ち、ゴミ捨て場になっている所さえあります。手入れの行き届かない河川の光景も目立ちます。

河川や山林の手入れ、不耕作地・耕作放棄地への対策として、鳥取市不法投棄監視員を各集落から推薦して活動を支援したり、河川一斉清掃への参加を呼び掛けたりする取り組みを行います。

（4）高齢化の進行について

地域の高齢化率が高い中、受診や買い物、預金引き出しなどが地区内では出来ない現状にあります。

スマートフォンの普及により高齢者のインターネット環境は改善しつつありますが、使い方がわからなかったり、特殊詐欺被害の不安があったり、別の課題が見えてきています。

防犯・防災対策や健康対策をはじめ、高齢者の活動支援、高齢者の見守りや日常生活のサポート体制の確立、交通手段確保の取り組みは、高齢者以外の人にも必要な、重要な課題となっています。

す。また独居高齢者等の増加に伴い、独居高齢者等の社会参加を促す取り組みが重要になってきます。

(5) 安心・安全について

2019（令和元）年12月に自主防災会が設立され、里づくり協議会の部会として活動しています。

各集落の区長が自主防災会の委員となり、災害が起きた時に地区住民の安全を守る責任者として位置づけられました。

今後も防災訓練や講演会を行い、自主防災会の部員や地区住民の危機管理意識、スキルの向上を図っていきます。

(6) 交通手段の確保や地区体育館の維持について

2023（令和5）年に民間バスが青谷町内から撤退し、現在タクシー会社が鳥取市と契約してオンデマンドバスを走らせています。今後を見据えて「日置谷地区共助交通検討会」を発足し、里づくり協議会の部会として活動することになりました。

また、旧日置谷小学校の廃校に伴い、日置谷体育館とグラウンドは地区（体育会）に委託されて管理することになりました。体育館は体育会事業や公民館事業で使用され、それ以外にも地区内外から利用申し込みがあり活用されています。グラウンドは地区公民館事業や老人クラブのグラウンドゴルフ練習で利用されています。グラウンドは地区住民の環境整備活動で維持されていますが、体育館の老朽化が新たな地域課題となっています。

(7) 住民のつながり

「住民のつながり」は、多くの課題を解決していく力の根源になります。

職場や家庭内の多忙化で様々な負担が増え、「出来るだけ地域での付き合いは減らしたい」との意見もあります。地域活動に参加している方からの意見です。貴重な意見として受けとめなければなりません。無理は危険です。出来るときに、出来る力を集める事こそ重要です。先輩たちは、お互いが出せる力を集め積み重ねて、今日の「住民のつながり」を築いてこられました。「住民のつながり」は、一人一人が行う地域での活動を、生きがいの一部に高めてもくれます。日置谷の先人たちが築き上げ、守り続けてきた「住民のつながり」を更に強めながら、「幸せの里づくり」を進めていきます。

3 基本目標

基本目標 1、安心と安全に包まれ、穏やかに暮らせる“里”づくり

計画目標（1）災害に備える体制づくり

施策目標 危険箇所の周知や避難について住民への周知、防災マップの見直し、防災訓練の実施

実施計画（1）防災講習会や防災訓練を実施し地域の防災について学び、災害に強い地区を目指す（担当：自主防災会）

基本目標 2、子どもからお年寄りまでみんなが支え合う“里”づくり

計画目標（1）子どもたちのふれ合いの場をつくる

施策目標 各種交流事業の充実、子ども会活動の実施

実施計画（1）地区公民館の「子どもと大人のふれあい事業」と連携した活動の推進

（担当：育成部）

取組例：将棋・オセロでの交流、そばの種まきからそば打ちまでの体験など

計画目標（2）高齢者の活動の積極的な実施

施策目標 老人クラブ活動の実施

実施計画（1）高齢者向けの啓発活動の実施

（担当：老人クラブ）

取組例：防犯講習会の開催など

実施計画（2）高齢者の健康維持を目的とした行事の開催

（担当：老人クラブ）

取組例：グラウンドゴルフの練習及び大会、健康に関する研修会の開催など

実施計画（3）地区敬老会の内容の充実を図る

（担当：総務部）

実施計画（4）高齢者の社会参加への支援

取組例：独居高齢者等の社会参加を促す取り組み

計画目標（3）交通手段の確保

施策目標 公共交通機関の確保、福祉バスなどの検討

実施計画（1）日置谷地区共助交通の検討

（担当：共助交通検討会）

基本目標 3、歳を重ねても健康で暮らせる“里”づくり

計画目標（1）各種スポーツ大会の開催

実施計画（1）親睦と交流を兼ねた各種スポーツ大会の実施

（担当：体育会）

取組例：モルック大会、グラウンドゴルフ大会、卓球大会の開催など

実施計画（2）健康づくりを目的とした行事の開催

（担当：健康づくり推進員会）

取組例：3B 体操、地区文化祭での健康コーナーの開催など

計画目標（2）健康的な食生活の推進

実施計画（1）健康づくりを目的とした行事の開催

（公民館事業）

取組例：調理実習の開催など

基本目標 4、美しい自然と魅力にあふれた“里”づくり

計画目標 (1) 日置谷の環境美化推進

施策目標 地域の環境美化を推進する

実施計画 (1) あじさいロードの草刈り、公民館周辺美化活動

(担当：景観づくり部)

実施計画 (2) 勝部川・日置川美化ボランティア活動への参加

(担当：区長会)

実施計画 (3) 日置谷の寒桜の保護及び広報活動

(担当：景観づくり部、日置谷の寒桜を守る会)

取組例：寒桜の消毒・施肥等、開花状況の HP での発信、開花時のイベント開会
など

実施計画 (4) 地域の自然・歴史の調査研究

基本目標 5、住民一人一人が参加する”里”づくり

計画目標 (1) 住民参加の交流・行事の充実

施策目標 地区文化祭の計画実施、人権・男女共同参画についての学習

実施計画 (1) 地区文化祭を計画・実施する

(担当：総務部)

実施計画 (2) 小地域懇談会の充実

(担当：人権啓発推進部)

実施計画 (3) 「日置谷を良くする会」の継続実施

(担当：総務部)

日置谷幸せの里づくり計画

2010 年 4 月 25 日作成

2025 年 4 月 17 日改訂

発 行 日置谷幸せの里づくり協議会

発行日 2025 年 4 月

事務局 鳥取市立日置谷地区公民館

〒689-0519

鳥取市青谷町奥崎 384-1

☎0857-85-1453

E メールアドレス cc-hiokidani@it.city.tottori.tottori.jp